第２章　自然とともに暮らすまち

第１節　自然を保全し、活用し、創造しながらうるおいのある都市空間をつくる

総合的な環境保全の推進経費　57 万 4 千円

登別市環境基本計画に基づく施策の取り組みと地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく市の実行計画、登別市環境配慮指針、グリーン購入法に基づく環境物品等の調達方針の進行管理を行います。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

森林整備地域活動支援交付金　124 万 4 千円

森林所有者の経営意欲の低下、林業従事者の減少や高齢化などにより森林の適切な管理活動が十分に行われなくなっており、このままでは森林の有する多面的機能に支障が生ずる恐れがあるため、森林所有者による計画的な森林施業が適切に行われるようその活動を支援します。

▶ 問い合わせ　農林水産グループ

市民農園経費　51 万円

自然とのふれあいや高齢者の生きがいづくりなどの場として開園します。

- 開設期間…４月下旬～１０月下旬
- 場所…札内町２０４－１
- 区画数…４０区画（１区画約５０平方㍍）
- 施設…水道施設、簡易トイレ
- 利用料…１区画７千円

▶ 問い合わせ　農林水産グループ

キウシト湿原緑地保全事業費　4千860万円

（うち国1千500万円、市債2千700万円）

環境省から重要湿地に選ばれているキウシト湿原の保全に必要な用地を取得するとともに、保全に向けた対策・工法を検討するため、湿原内の水位・水質や地下水の観測を行います。

▶問い合わせ　土木公園グループ

ネイチャーセンター運営管理経費　1千983万2千円

平成１４年４月にオープンした宿泊型の自然体験学習施設『ふぉれすと鉱山』では、人と自然のふれあう場として、自然環境に配慮・調和したさまざまな体験活動ができます。

自然を教材にした多彩なプログラムの提供や日常の調査から得た旬の自然情報を発信します。

▶問い合わせ　ネイチャーセンター

緑化推進経費　527万7千円

・**市民緑化推進事業**…町内会などを対象に、希望する樹木や多年草などを配布し、公園などの公共施設に植栽します。

・**沿道美化事業**…道道弁景幌別線などの沿道花壇へ、町内会や商店会などの参加のもと、花植えを年２回行います。（春…パンジー、夏…ベゴニア）

・**市民記念植樹事業**…結婚や誕生などの記念植樹者を募り、記念者やその家族による植樹を秋に行います。

・**沿道緑化推進事業**…みどりの少ない国道沿いの空き地や道道沿いの植樹ますに市民が中心となって植栽を行います。

・**試験育苗事業**…町内会などの協力のもと、ビニールハウス内で種から花苗を育てる試験育苗を行います。

・**『みどりの講演会』『みどりの教室』など**…自然やみどりについての講演会や家庭園芸などの講習会を開きます。

・**グリーンデータバンク**…家庭で不要になった樹木などの有効活用を図るため、樹木の提供情報などを『広報のぼりべつ』に掲載するとともに、受け取り希望者への仲介を行います。

・みどりづくりマニュアル…庭木や花など、家庭でのみどりづくりに関するマニュアルを作成し、希望者に配布します。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

幌別鉄南地区海浜地緑化経費　140 万円

地域のみどりの環境づくりを進めるため、地域住民と協働で海浜地に植樹を行います。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

第２節　美しく、清らかな環境の中で、自然にやさしい生き方が見えるまちをつくる

ごみ減量化推進等経費

・リサイクル・ごみ減量化啓発経費　101 万 3 千円

びんやペットボトルなどの資源ごみを回収し、ごみの減量化や資源の再利用を図るほか、ガーデニング講習会やリサイクル教室などを開催してリサイクルに対する意識の高揚を図ります。

・ごみ袋管理経費　3 千 126 万円

費用負担の公平化やごみの減量、処理費用の軽減などを図るため、家庭から排出されるごみの有料制を継続実施し、指定ごみ袋などの作成と管理を行います。

・ごみステーションネット化推進事業補助金　13 万 1 千円

ごみステーションに出されたごみにネットを掛けることで、周辺の美観や衛生を保持し、ごみ収集の効率化を図るため、町内会などに対し、ごみネット購入費の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

・ごみ再資源化推進事業補助金　45 万円

ごみの減量やリサイクルの普及・啓発、ごみステーション管理や分別排出の協力を町内会などに呼びかけるクリーンリーダーの育成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

・生ごみ堆肥化容器購入費補助金　20 万円

家庭から出る生ごみの減量化とごみの有効利用を目的に、生ごみ堆肥化容器購入費用の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

衛生団体連合会運営事業助成金　18 万円

町内会などで組織し、春・秋の登別クリーン作戦や清潔で美しいまちづくりのための各種事業の啓発活動を行う登別市衛生団体連合会に助成金を交付します。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

塵芥(じんかい)収集運搬業務委託　1 億 2 千 55 万 1 千円

家庭からごみステーション（市内約１千４５０カ所）へ出されたごみの収集や運搬を行います。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

リサイクルまつり開催経費　28 万 2 千円

リサイクルまつりを通して、市民にごみの減量やリサイクル意識の向上を促し、循環型社会の形成に努めます。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

クリンクルセンター、最終処分場運営管理経費　6 億 6 千 616 万 8 千円

クリンクルセンター、廃棄物管理型最終処分場と埋め立て処分の終了した千歳最終処分場について適正に運営管理します。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

資源回収団体奨励金　610 万 7 千円

新聞紙や金属類、生きびんなど、再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子ども会などの登録団体に奨励金を交付します。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

不法投棄等防止経費　30 万 2 千円

不法投棄やポイ捨て防止のため、防止看板などを設置します。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

第５４回北海道公衆衛生大会補助金　30 万円

環境衛生や環境保全にかかわる活動への意識啓発を図るために開催される第５４回北海道公衆衛生大会を支援します。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

し尿処理施設整備事業費　550 万円

老朽化している現施設を補修整備し、し尿などを適正に処理します。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

し尿収集運搬業務委託　7 千 231 万 9 千円

し尿処理世帯は、約６千５００世帯。し尿収集量は約１万４千キロリットル。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

公害対策経費　146 万 3 千円

美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために交通騒音調査や河川の水質測定調査、大気中のダイオキシン類の測定などを行います。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

野犬掃討、畜犬登録等経費　884 万 3 千円

犬による人や家畜などへの危害を防止するため、野犬掃討や畜犬の登録、狂犬病の予防注射を行います。

▶ 問い合わせ　環境対策グループ

有害鳥獣駆除経費　61 万 5 千円

キツネ･鹿･カラスによる農業被害などを最小限に食い止めるため駆除を行います。

▶ 問い合わせ　農林水産グループ

公共下水道事業

・公共下水道の整備　7億5千932万円

（うち国1億2千600万円、市債5億8千120万円）

美園町、上鷲別町のうち、約２９㌶の整備を図り、年度末には下水道普及率約８７％を予定しています。

また、登別地区に向けた幹線管渠の整備などを行います。

・若山浄化センターの増設　5億420万円

（うち国2億7千90万円、市債2億970万円）

若山浄化センターに流入する汚水の増大に対応するため、平成１６年度から３カ年計画で増設工事を行います。

・下水道管の清掃調査など　3千33万7千円

下水道管内の沈でん物を除去し、破損状態を把握して今後の維持計画を立て適正な管理を行います。

・下水道管やマンホールなどの補修　2千105万円

老朽化した下水道管やマンホールなどを補修します。

・若山浄化センターの運営管理　1億2千123万1千円

若山浄化センターの運営を適性に管理します。

・下水道汚泥の処分　4千172万7千円

若山浄化センターで発生する下水道汚泥をクリンクルセンターで焼却処分し、一部はセメントの原料として有効利用しています。

・水洗便所改造などの補助　1千334万4千円

下水道処理開始から１年以内に自己資金で個人住宅の水洗化工事と排水設備工事を同時に行う場合や浄化槽を廃止し排水設備工事を行う方に補助します（新築を除く）。

補助金額　①水洗トイレ改造・排水設備工事…３万３千円
（トイレ１基増えるごとに２万３千円を加算）
②排水設備工事（浄化槽設置者）…１万円

・水洗便所改造などの融資あっせん利子補給金　275万2千円

　下水道処理開始から３年以内に水洗化工事を行う方の、借入金の利子分を市が負担します（３年を過ぎた方は半額負担)。

融資あっせん限度額　①水洗便所改造工事…１カ所あたり３８万円以内
②排水設備設置工事…１件につき２１万円以内
③①と②の工事を行った場合…５９万円

※土地の形状で、工事費が５９万円を超える場合は、超えた額の半分を加算します。

・個別排水処理施設の整備　2千240万円（うち市債1千870万円）

　平成１６年度から公共下水道整備区域外の地域の家庭を対象に各家庭から排出される生活排水を浄化槽により処理する『個別排水処理施設整備事業』を実施します。

▶問い合わせ　下水道グループ

公共施設水洗化事業費　150万円（うち市債100万円）

平成１７年度は、老人憩の家『旭ケ丘三恵園』を水洗化します。

▶問い合わせ　財政グループ

葬斎場運営管理経費　1千541万7千円

葬斎場の機械設備などを保守点検整備し、適正な運営管理に努めます。

▶問い合わせ　市民サービスグループ

墓地管理経費　765万8千円

墓地内を計画的に整備し、景観の回復を図ります。

▶問い合わせ　市民サービスグループ

第３節　安全で安心して暮らせるまちをつくる

道路台帳図作成委託費　650万円

市道を管理するための道路台帳図を作成します。

▶問い合わせ　管理グループ

防災資機材購入整備費補助金　230 万円

町内会などによる自主防災組織の防災活動に要する資機材購入に対し、補助金を交付し防災活動を支援するとともに意識の高揚を図ります。

▶ 問い合わせ　総務グループ

総合防災訓練経費　121 万 1 千円

市民や行政などが災害時における適切で迅速な行動を身に付けるとともに防災意識の高揚を図るため、防災関係機関と地域住民が一体となった総合防災訓練を行います。

▶ 問い合わせ　総務グループ

ハザードマップ作成経費　402 万円（うち道 200 万円）

災害から市民の生命・財産を守るため、災害による被害予測や避難場所などを掲載したハザードマップを平成１７・１８年度の２カ年で作成し、全戸配布します。

▶ 問い合わせ　総務グループ

林業振興経費　54 万 3 千円

森林資源の保護や巡視活動などによる林野火災予防の啓発、治山施設の維持などを行います。

▶ 問い合わせ　農林水産グループ

登別温泉中央通り道路災害防除事業費　6 千 830 万円
（うち国 3 千 400 万円、市債 2 千 550 万円）

登別温泉町の五色橋～曙橋間のがけ崩れを防止するため、昨年度に引き続きのり面（急斜面）改良を行います。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

民有林造林推進事業補助金　884 万 1 千円（うち道 294 万 6 千円）

森林の荒廃を防ぎ、森林資源の確保を図るため、植栽や間伐のほか、幼木を保護するための草刈りを行う白老町森林組合を支援します。

▶ 問い合わせ　農林水産グループ

森林愛護啓蒙事業補助金　11 万円

山火事、遭難防止のための巡視活動や啓発チラシの配布を通じて、入山者へのマナー遵守の呼びかけや看板などの設置を行う森林愛護組合連合会を支援します。

▶ 問い合わせ　農林水産グループ

河川維持補修事業経費　481 万円

市内を流れる川の河川敷の草刈りを行うほか、昨年に引き続き、大雨による川の氾濫被害を防ぐため、河川内の土砂などの除去を行います。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

河川防護柵設置事業費　150 万円

上鷲別富岸川に防護柵を設置します。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

河川用地測量経費　159 万 6 千円

河川の管理を円滑に行うため、普通河川・準用河川の現況調査や用地確定測量を年次的に行います。

▶ 問い合わせ　管理グループ

消防施設等維持補修経費　465 万 6 千円

老朽化の著しい消防施設の補修を行い、職場環境の改善と施設の延命を図ります。

▶ 問い合わせ　消防本部

水槽付消防ポンプ自動車購入費　3 千 910 万円
（うち道 1 千 445 万 4 千円、市債 2 千万円）

登別支署に配置している水槽付消防ポンプ自動車を更新します。

▶ 問い合わせ　消防本部

消防用緊急通信指令施設整備事業費　92 万 5 千円

苫小牧市消防本部を経由していた携帯電話による１１９番通報を、登別市消防本部が直接受信できるシステムに移行します。

▶ 問い合わせ　消防本部

消火栓新設事業費　650 万円（うち市債 580 万円）

市内には消火栓や防火水槽、大容量防火井戸などの消防用水を確保するための施設が６１９カ所ありますが、消火活動を迅速に行うため、消火栓を適正に配置します。

平成１７年度は１基新設し、９基を更新します。

▶ 問い合わせ　消防本部

消防用機器整備事業　32 万円

消防用機器の整備を行い、救急活動の円滑化を図ります。

▶ 問い合わせ　消防本部

救急救命士養成経費　306 万 4 千円

現在、市には１５人の救急救命士がいます。平成１７年度中に新たに１人を養成します。

▶ 問い合わせ　消防本部

生活安全に関する経費　1 万 3 千円

市民の安全意識の高揚を図るため、『犯罪や交通事故の未然防止について』の啓発文書を作成し、市民にお知らせします。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

室蘭登別防犯協会連合会助成金　65 万円

各種犯罪の未然防止と市内から一切の暴力を追放し、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて活動する室蘭登別防犯協会連合会を支援します。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金　50 万円

市内から暴力団を追放・排除し、安全で安心して暮らせる明るいまちづくりの実現に向けて活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会を支援します。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担金　18 万円

社会を明るくする運動登別地区実施委員会が行う街頭啓発、公開ケース研究会など犯罪防止啓発事業を支援します。

▶ 問い合わせ　社会福祉グループ

登別地区保護司会補助金　25 万円

過去に罪を犯した方の更生を助けるとともに、犯罪予防の啓発に努め、個人や公共の福祉に寄与し明るい社会を実現するため活動する登別地区保護司会を支援します。

▶ 問い合わせ　社会福祉グループ

防犯灯設置事業補助金　600 万円

町内会などが地域の安全を確保するために設置・改修する防犯灯の工事費の３分の２以内の額を補助します。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

カーブミラー設置費　100 万円

見通しの悪い交差点などに設置し、交通事故の防止を図ります。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

照明灯設置事業費　100 万円

交差点などの交通安全対策のため、幹線道路や通学路に照明灯を設置します。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

美園５７号線歩道新設事業費　2 千万円（うち市債 1 千 800 万円）

平成７年度から行っているＪＲ室蘭本線沿いの美園５７号線（若草町）の歩道新設工事を、平成１７年度も引き続き行います（延長１１０㍍、幅員２㍍）。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

除雪委託費　3 千万円

冬期間における歩行者や通行車両の安全を確保するため、市道の除雪や融雪剤の散布を行います。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

冬道対策経費　906 万 9 千円

冬期間における歩行者や通行車両の安全を確保するため、融雪剤購入、ロードヒーティング設備や砂箱の修繕を行います。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

道路維持補修・市道舗装補修事業　7 千 670 万円

歩行者や通行車両の安全を確保するため、市道の舗装補修や雨水排水施設の補修・清掃などを行います。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

橋梁維持補修事業　290 万円

歩行者や通行車両の安全を確保するため、橋梁の維持管理・補修を行います。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

ロードマーク設置経費　240 万円

車両通行の安全を確保するため、市道の路面上にセンターラインなどの表示を行います。

▶ 問い合わせ　土木公園グループ

交通安全推進経費　185 万 5 千円

幼稚園や学校、老人クラブなどでの交通安全教室や交通事故防止に努め、交通安全運動を通じ、市民の交通安全意識の高揚を図ります。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

交通安全協会交付金　450 万円

交通安全思想の普及高揚のための指導教育活動や広報活動など交通安全協会が行う活動を支援します。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

交通傷害保険料　240 万円

市民を対象に、少額な保険料で交通事故によるけがを保障します。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

消費者行政推進経費　44 万 9 千円

消費生活に関する相談や物価調査結果の集計、量目の調査を行い、市民生活の安定と向上を図ります。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

登別消費者協会運営助成金　18 万 5 千円

物価の調査や監視、消費生活相談など、消費者の擁護のため活動する登別消費者協会を支援します。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

消費生活展開催補助金　30 万円

商品の安全性やリサイクルなどを実演や展示で紹介し、正しい知識の普及や啓発を図る消費生活展を支援します。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

消費生活モニター関係経費　26 万 2 千円

市が委嘱する消費生活モニター（１０名）が生鮮食料品、日用雑貨など３５品目について、月１回、価格変動、商品陳列の状況（商品供給状況）、産地表示の状況などを調査します。

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ

無料法律相談業務経費　37 万 8 千円

交通事故や金銭貸借、損害賠償などの法律問題を解決するため、鉄南ふれあいセンターと弁護士事務所で弁護士による相談を行います。

・**鉄南ふれあいセンターでの相談**…月１回、定員６人

・**弁護士事務所での相談**…月６人

▶ 問い合わせ　市民サービスグループ